

1

暑熱下で開催される競技会での ヒートルールの採用と適用について

JTA公式トーナメント競技規則「24. ヒートルール」は、JTAランキング対象大会のJ1以上で、男女シングルス・ダブルスのうち、試合フォーマットが3タイブレークセット、またはファイナルセットがアドバンテージセットで行われる種目に限り適用されるとされています。しかし、暑熱下の無理な試合の続行は、選手の安全だけでなく大会主催者としての管理責任に直結し、場合によっては取り返しのつかない事態に発展しかねません。ここでいう取り返しのつかない事態には、出場選手の熱射病、死亡事故、大会存続の危機、主催者の損害賠償責任が含まれます。そこで、大会主催者は、環境省の「暑さ指数(WBGT) 予測値等電子情報提供サービス」が1時間ごとに提供する大会会場に最も近い地点でのWBGTを参考に、主催大会に以下のヒートルールの採用と適用をすることが期待されます。

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	指針レベル	対 応
24 } 28℃	21 } 25℃	1 注意	熱中症の兆候に注意するとともに、エンドチェンジの際に積極的に水分・塩分を補給するよう促す。
28 } 31℃	25 } 28℃	2 警戒	WBGT25℃以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給させる。
31 } 35℃	28 } 31℃	3 嚴重警戒	WBGT28℃以上では、熱中症の危険性が高いため、頻繁に休息をとり水分・塩分の補給をさせる。体表冷却手段を提供する。
35℃ 以上	31℃ 以上	4 特別対応	上記の嚴重警戒対応に加え以下の対応を講じる。 ❶ J1以上の大会で3セットマッチで行われる種目 1 以下のいずれかの試合フォーマットを選ぶ。 ●ファイナルセットマッチタイブレーク (10ポイントまたは7ポイント) ●3タイブレークセット 2 最終セット前に10分間のコート外での休憩を与える。 ❷ 上記以外のJTA公式大会で3セットマッチで行われる種目 1 以下のいずれかの試合フォーマットを選ぶ。 ●3ショットセット (4ゲームオールまたは3ゲームオールタイブレーク) ●ファイナルセットマッチタイブレーク (10ポイントまたは7ポイント) 2 最終セット前に10分間のコート外での休憩を与える。